

クワシロカイガラムシ属

(1)クワシロカイガラムシ

英名 : Mulberry scale

学名 : *Pseudaulacaspis pentagona*

(2)ウメシロカイガラムシ

英名 : White peach scale

学名 : *Pseudaulacaspis prunicola*



雌成虫(体長 2~3mm)



被害果実



雄の介殻

モモに寄生するカイガラムシ類の同定方法

(1) 臀板周辺腺刺の形状

腺刺の先端部分がクワシロカイガラムシでは分岐し、ウメシロカイガラムシでは分岐しない



クワシロカイガラムシの臀板周辺腺刺



ウメシロカイガラムシの臀板周辺腺刺

(2) 触角の形状

触角は丸みを帯び、クワシロカイガラムシには角状の付属突起があり、ウメシロカイガラムシにはない



クワシロカイガラムシの触角



ウメシロカイガラムシの触角

生態と防除

主要種	: 和歌山県のモモ産地では両種が確認されている。
発育経過	: 卵→幼虫(3齢)→蛹→成虫。
加害部位	: 枝、幹、果実
越冬形態と越冬場所	: 雌成虫(交尾済み)、枝幹部
年間発生回数	: 3回
防除時期	: 1齢幼虫が出現する5月上旬、7月下旬、9月上旬
防除対策	: 冬期のマシン油乳剤の散布は防除効果が高い